

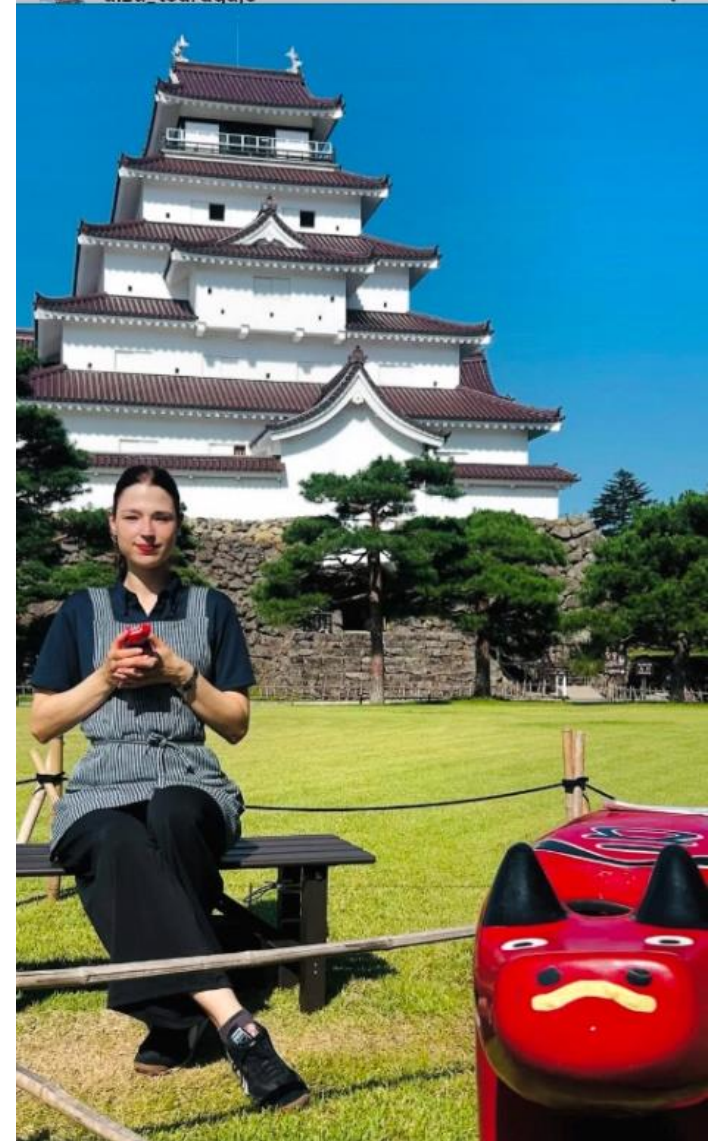
ブラウズディテ ドミニーカ

会津若松観光ビューロー

外国人むけガイド・サムライパフォーマンス

自己紹介

- 名前：ドミニカ・ブラウズディテ
- 出身：リトアニア
- 来日：2025年8月
- 現在：会津若松観光案内所
- 担当：鶴ヶ城英語ガイド／観光案内／サムライパフォーマンス



他の協力隊と違う立場

- 私の活動の特徴
- 観光や情報発信は成果が数値や形として見えにくい分野ではありますが、長期的な信頼と関心を育てる重要な役割を担っていると考えています。



個人として続けてきたこと

- それでも、自分にできることを考え、
 - ・小規模なイベントの企画
 - ・スタンプラリーの実施
 - ・観光に関するSNSでの情報発信などに取り組んできました。
- すぐに大きな反応がある活動ではありませんが、継続すること自体に意味があると考えています。



SNS発信についての取り組み

- SNSでは、鶴ヶ城だけでなく、会津若松市内や周辺地域の観光スポットも含め、会津全体の魅力を幅広く発信しています。
- 有名な観光地に加えて、地域の行事や季節の風景、正月の餅つきなどのローカルイベントも紹介、幅広い層の人に「会津に行ってみたい」と思ってもらうことを意識しています。
- 観光客の多くが訪問前にSNSで情報を集めているため、外から来た立場として、初めて訪れる人の目線を大切にしながら発信を続けています。



英語ガイド

英語ガイドとしての取り組み

- 鶴ヶ城の英語ガイド（城内・城郭周辺）
- 日本人ボランティアガイドの皆様から歴史と案内方法を学習 外国人観光客向けの工夫

日本史の知識がなくても理解できる説明

- 簡潔で分かりやすい構成
- 限られた時間でも満足できる内容 大切にしていること
- 外国人の視点に立ったツアーづくり



観光について考え続けていること

- どうすれば観光客が増えるのか
- どうすれば市民の方にも観光がプラスになるのか
- 限られた権限の中でも、外から来た立場として改善点に気づくことがあります。



サムライ活動への思い

- サムライの稽古については、現在すぐに業務として活用されているわけではありません。しかし、将来的に地域の観光資源の一部として関われる可能性を信じて、個人として継続しています。
- 会津らしさを体現できる存在になることが、観光の魅力向上につながると考えています。



個人の活動としての振り返り

- 主体的な取り組み
- 自主的に行動
- 取り組みが伝わりにくい難しさ
- 外国人としての視点
- 自ら考え、行動し、継続
- 大きな学び

今後の取り組みと展望

- 国内外への継続的な魅力発信
- 来訪者を惹きつける創意工夫
- 地域に根ざした小規模イベントの実施
- 地域とともに創る、活気あるまちづくり